FULLBACK

増設バッテリユニット

SMB-HF14R (SMU-HF152R 用)
SMB-HF32R (SMU-HF302R 用)
SMB-HF52R (SMU-HF502R 用)

取扱説明書

サンケン電気株式会社

はじめに

このたびは、弊社ＵＰＳ用増設バッテリユニットをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、サンケンＵＰＳ「SMU-HF シリーズ」専用の増設バッテリユニットです。

本製品を末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。
また、本書は日常の運用時等にいつでも見られるように、本製品のそばの安全な場所に大切に保管してください。
本書をお読みいただき、正しくお使いくださいますようお願いいたします。

目　　次

はじめに

目次

安全上の注意事項（安全にお使いいただくために）

本書の安全についての記号と意味 …… 3

使用上の注意 …… 4

保管上の注意 …… 5

商品の確認 …… 6

設置 …… 8

接続 …… 13

設定 …… 18

保守・点検について …… 19

標準仕様 …… 21

外形寸法 …… 22

安全上の注意事項（安全にお使いいただくために）

本書には本製品を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、本製品を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されています。
これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や財産への損害などにつながる可能性があります。

本書の安全についての記号と意味

◇! **危険**　指示に従わなかった場合、使用者や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠ **注意**　指示に従わなかった場合、使用者や第三者が傷害を負ったり本製品を破損させるおそれがあることを示しています。

図記号の意味			
	この記号は危険を促す事項を示しています。 ◇の中に具体的な危険内容（左図の場合は一般的な危険）が描かれています。		
	一般的な危険	感電のおそれあり	火災のおそれあり
	この記号は注意を促す事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。		
	一般的な注意	感電注意	
	この記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 ⃠の中に具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止項目）が描かれています。		
	一般的な禁止項目	分解禁止	火気使用禁止
	この記号は強制（必ずしなければならないこと）を示しています。 ●の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制項目）が描かれています。		
	一般的な強制項目	接地せよ	

◇! 危　険	
	感電のおそれあり 分解、修理、改造は絶対にしないでください。 本製品内部には高電圧回路があり、誤って触ると感電するおそれがあり、危険です。
	火災のおそれあり 本製品から異臭、異音、発煙、発火等が発生した場合は、すぐに強制停止して、入力コンセントを抜くか外部設置の受電用ブレーカをOFFにしてください。その後、お買い上げの販売店、又は弊社営業所にご連絡ください。 万一火災等になった場合、電気火災用（粉末・ABC）消火器を使用してください。 水等での消火はしないでください。

使用上の注意

⚠ 注　意	
	瞬停が頻繁に発生する場所では下記の点にご注意ください。 バッテリ運転が頻繁に発生して、バッテリが空になりやすく、停電時に作動しないおそれがあります。
	本製品を運転する前に負荷側の安全を確認し、本書に従って運転操作を行ってください。
	接続する機器の消費電力の合計は本製品の定格出力容量以下としてください。 故障の原因になるおそれがあります。
	本製品周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。 爆発、破損により、けが、火災等のおそれがあります。
	本製品の上部に花瓶などの水の入った容器等を置かないでください。 容器等が転倒した場合、こぼれた水での感電、本製品からの火災の原因になるおそれがあります。
	本製品の上部に腰掛けたり、乗ったり踏み台にしたりよりかかったりしないでください。 本製品の故障だけでなく、転倒などでけがのおそれがあります。
	冷却ファンに指や棒などを入れないでください。 ファンが破損し、破片などによりけがのおそれがあります。
	本製品の端子、コンセント、バッテリコネクタ、排気口などに金属棒、指などを差し込まないでください。感電、けがのおそれがあります。
	本製品使用中は、入力と出力はショートさせないでください。 電流が環流し、アークが発生してやけど、視覚の障害などのおそれがあります。
	次のような用途には絶対に使用しないでください。 a) 人命に直接かかわる医療機器等への使用 b) 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータ等への使用 c) 社会的、公共的に重要なコンピュータシステム等への使用 d) これらに準ずる装置 上記負荷設備に使用する場合は、事前に弊社にご相談ください。 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となります。
	本製品は、日本以外で使用しないでください。 本製品を国外で使用すると、電圧、使用環境等の変化により発煙、発火等の原因となる場合があります。 国外で使用する場合は、事前に弊社にご相談ください。

保管上の注意

⚠ 注　意	
	以下のような場所での保管はしないでください。故障、損傷、劣化等によって火災等の原因となるおそれがあります。 ・カタログ、本書に記載された周囲環境条件からはずれた高温、低温、多湿、となる場所（保管条件：周囲温度0～40℃、相対湿度90%以下、結露なきこと） ・直射日光があたる場所 ・ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所 ・振動、衝撃の加わる場所 ・火花が発生する機器の近く ・ふんじん、腐食性ガス、塩分、可燃性ガス、水滴がある場所 ・屋外 ・海抜1000mを越える場所 ・その他上記に類するような環境
	長期間使用しない場合は入力プラグをコンセントから抜いてください。
	長期保管の後で運転する場合は、受電状態で充分に充電してから運転してください。（充電時間の目安は p.21 の標準仕様を参照ください。）

本製品の修理および故障部品の交換等は、お買い上げ販売店、又は弊社営業所にご連絡の上、ご依頼ください。

名称：サンケン電気 機器コールセンター
電話（営業）：049-266-8528

商品の確認

開梱されましたら、ケースのへこみ等、輸送中の損傷がないか確認してください。
ご不審な点、その他不具合等がありましたら、ご使用を中止しすぐにお買上げ販売店または最寄りの弊社営業所へ御連絡ください。

⚠ 注　意	
❗	**重量物につき、取扱に注意してください。けがのおそれがあります。** 本製品の質量 SMB-HF14 R　：　約 45kg SMB-HF32 R　：　約 45kg SMB-HF52 R　：　約 45kg ・重量物ですので落下させないでください。 持ち上げたりする場合は身体を痛めることが無いよう充分に注意してください。

形式の確認

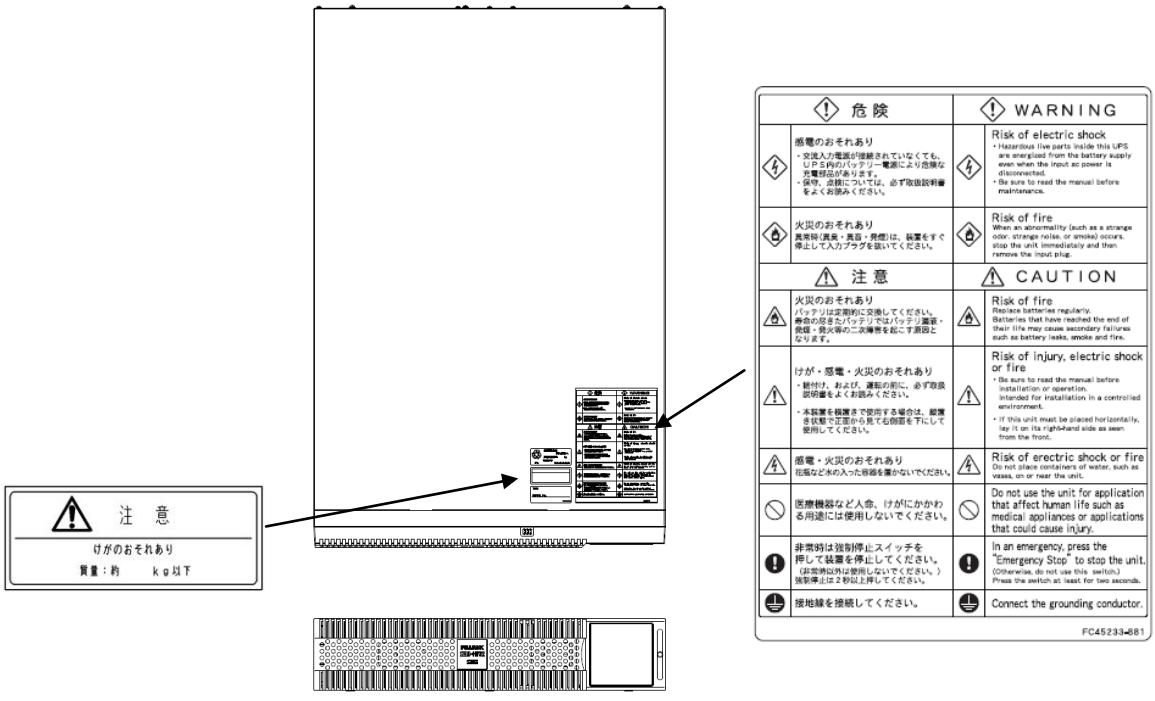
定格ラベルを確認し、製品名、容量が正しいことを確認してください。

形式の表示方法

SMB-HF14R　・・・・　SMU-HF152R 用増設バッテリ
SMB-HF32R　・・・・　SMU-HF302R 用増設バッテリ
SMB-HF52R　・・・・　SMU-HF502R 用増設バッテリ

注意ラベルの確認

製品本体にも安全上の注意事項が表示されています。よくご確認いただき正しくお使いください。

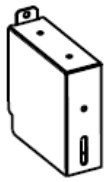


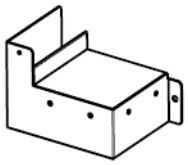
付属品の確認

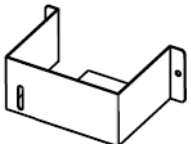
下記の付属品があることを確認してください。

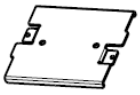
●SMB-HF14R の付属品

①配線カバーA　・・・・１個
②配線カバーB　・・・・１個
③配線カバーC　・・・・１個
④ラック取付金具　・・・・２個
⑤連結金具　a　・・・・２個
⑥連結金具　b　・・・・２個
⑦取り付けネジ(M3)・・・６個
⑧取り付けネジ(M4)・・・８個
⑨接続ケーブル　・・・・１本
⑩取扱説明書　・・・・１部


配線カバーA


配線カバーB

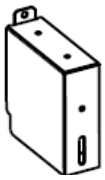

配線カバーC

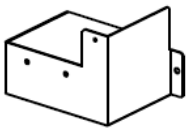

連結金具 a

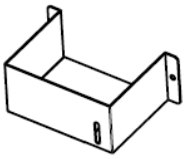
連結金具 b

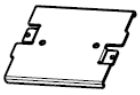
●SMB-HF32R の付属品

①配線カバーA　・・・・１個
②配線カバーD　・・・・１個
③配線カバーE　・・・・１個
④ラック取付金具　・・・・２個
⑤連結金具　a　・・・・２個
⑥連結金具　b　・・・・２個
⑦取り付けネジ(M3)・・・６個
⑧取り付けネジ(M4)・・・８個
⑨接続ケーブル　・・・・１本
⑩取扱説明書　・・・・１部


配線カバーA


配線カバーD

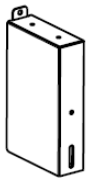

配線カバーE

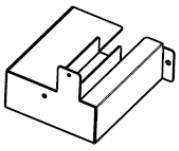

連結金具 a

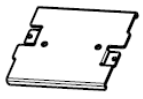
連結金具 b

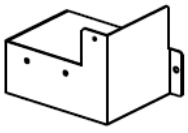
●SMB-HF52R の付属品

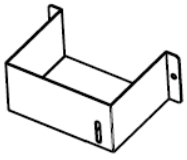
①配線カバーF　・・・・１個
②配線カバーG　・・・・１個
③配線カバーD　・・・・１個
④配線カバーE　・・・・１個
⑤ラック取付金具　・・・・２個
⑥連結金具　a　・・・・２個
⑦連結金具　b　・・・・２個
⑧取り付けネジ(M3)・・・６個
⑨取り付けネジ(M4)・・・８個
⑩接続ケーブル　・・・・１本
⑪取扱説明書　・・・・１部


配線カバーF


配線カバーG


連結金具 a


配線カバーD


配線カバーE

連結金具 b

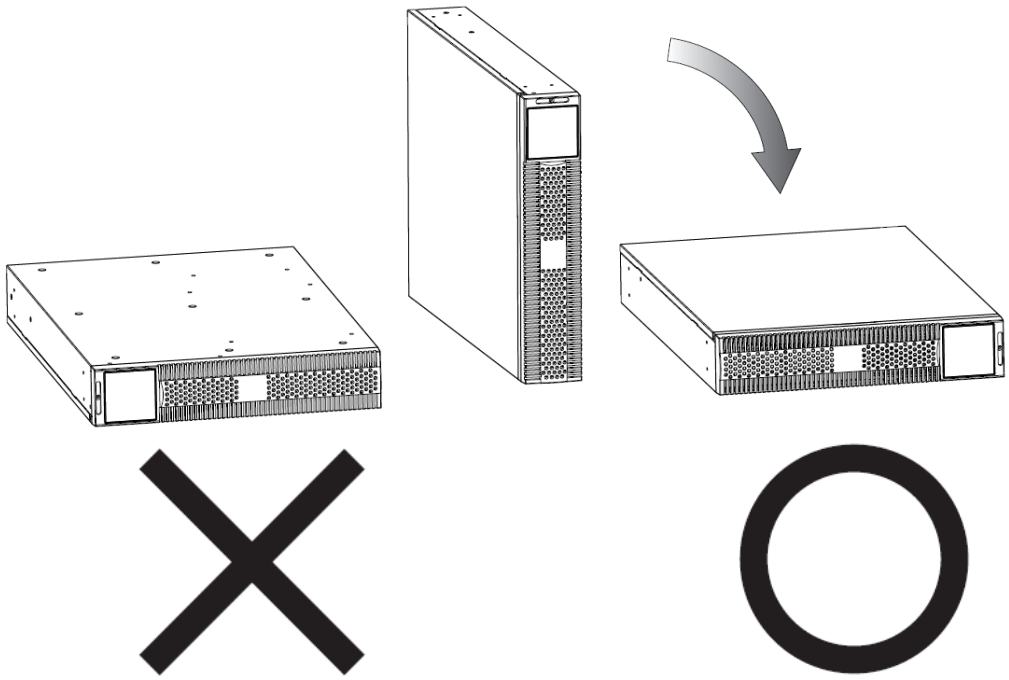
設　　置

設置上の注意

⚠ 注　意	
	排気口をふさがないでください。 本製品の内部温度が上昇し、火災等の原因になるおそれがあります。
	設置場所は本製品の重量に注意し、安定した場所に設置して確実に固定してください。 ラックに取付ける場合は製品重量を支えるサポートを用意してください。 落下や転倒等によりけがをするおそれがあります。
	感電のおそれあり 安全に作業するために、身につけている貴金属類（時計や指輪など導電性のもの）を外してください。 また、使用される工具（プラスドライバ等）には絶縁テープを巻くなどして、誤って本製品内部の部品や端子に触れても感電したり、短絡事故等が発生しないようにしてください。 本製品の内部には高電圧部分やバッテリが内蔵されていますので、十分注意して作業を行ってください。
	以下のような環境での使用、保管等は絶対にしないでください。故障、損傷、劣化等によって火災等の原因となるおそれがあります。 ・カタログ、本書に記載された周囲環境条件からはずれた高温、低温、多湿、となる場所 ・直射日光があたる場所 ・ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所 ・振動、衝撃の加わる場所 ・火花が発生する機器の近く ・ふんじん、腐食性ガス、塩分、可燃性ガス、水滴がある場所 ・屋外 ・海抜1000mを越える場所 ・その他上記に類するような環境
	重量物につき、取扱に注意してください。けが等のおそれがあります。 本製品の重量 **SMB-HF14 R　：約 45kg、　　SMB-HF32 R　：約 45kg** **SMB-HF52 R　：約 45kg** 重量物ですので、落下させないでください。 持ち上げたりする場合は、身体を痛めることが無いよう十分に注意してください。

横置きの場合

必ず右図のように、右側に倒す方向に横にしてください。
反対側に倒して使用した場合、バッテリの液漏れなど火災や故障の原因となります。



●設置スペースについて

装置周囲（ラック設置時上下面除く）は、壁などに密着させないでください。
また、熱がこもらないように注意してください。

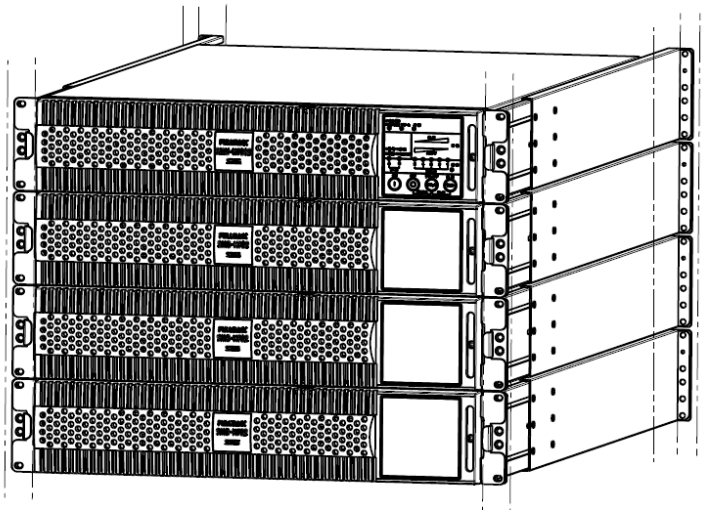
⚠ 注　意	
❗	**重量物のため、けがのないよう十分に注意して作業してください。**
⃠	**横置きの際、装置に衝撃を与えないでください。** 故障、破損のおそれがあります。
❗	**配線については必ずＵＰＳ本体の取扱説明書の配線の項目を参照してください。**　故障、破損のおそれがあります。

EIA19インチラックへの取付け

本製品は、専用金具（オプション）を使用して、EIA19インチラックに固定することができます。

ラック固定カナグ	適応機種
RMB－86	SMB-HF14R ／ SMB-HF32R ／ SMB-HF52R

取付イメージ図



UPS 本体のラック固定金具は下表となります。詳しくは UPS 本体の取扱説明書をご参照ください。

ラック固定金具	適応機種
RMB－86	SMU-HF152R-200 SMU-HF152R-200-10M SMU-HF302R-200
RMB－87	SMU-HF502R-200

⚠ 注　意	
❗	専用金具は前後にEIA固定穴が用意されているラックに対応しています。 側面で固定するタイプのラックには対応しておりません。 詳しくはオプション金具の取扱説明書を参照してください。
❗	本装置はバッテリを内蔵しているため、重量が重くなっております。 ラックに設置する場合はできるだけ下段に設置するなど、ラックの重心を下げる考慮をしてください。

縦置き状態での固定方法

●SMB-HF52R を縦置きする場合

縦置き用固定金具は付属しません。別途下記の専用固定金具を使用して一台づつ設置してください。（設置方法は固定金具の取扱説明書をご参照ください。）

縦置き固定金具	適応機種
RMB－88	SMU-HF502R-200
RMB－89	SMB-HF52R

●SMB-HF14R、SMB-HF32R を縦置きする場合

※バッテリユニットを増設して縦置きする場合、付属の連結金具を使用できます。装置は重量物のため、付属の連結金具の取り付け作業には、吊り上げ設備等を使用するなど、十分に安全を考慮して実施してください。

設備等がない場合は別途下記の専用固定金具を使用して一台づつ設置してください。（設置方法は固定金具の取扱説明書をご参照ください。）

縦置き固定金具	適応機種	
	UPS 本体	増設バッテリ
RMB－89	SMU-HF152R-200 SMU-HF152R-200-10M	SMB-HF14R
	SMU-HF302R-200	SMB-HF32R

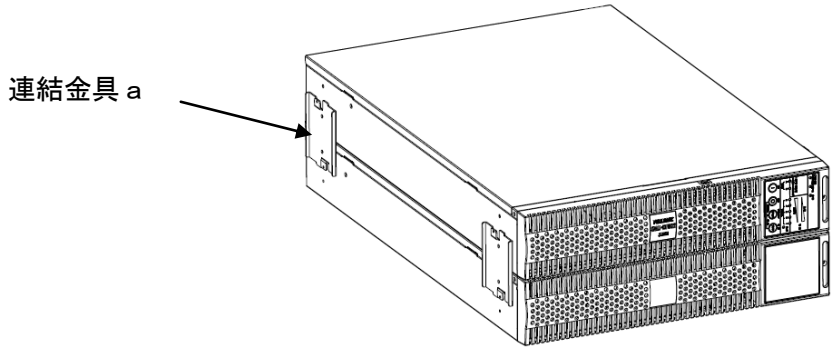
⚠ 注 意

設置は必ず２人以上で行い、吊り上げ設備等を使用するなど、安全に考慮して実施してください。

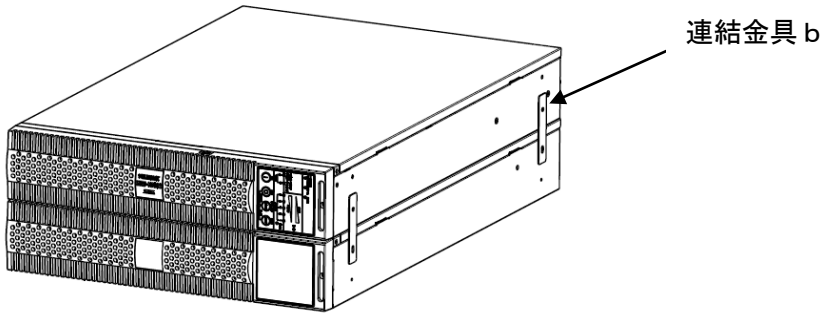
重量物につき、けが、装置破損のおそれがあります。

●付属の連結金具を使用して縦置きする場合（SMB-HF52 を除く）

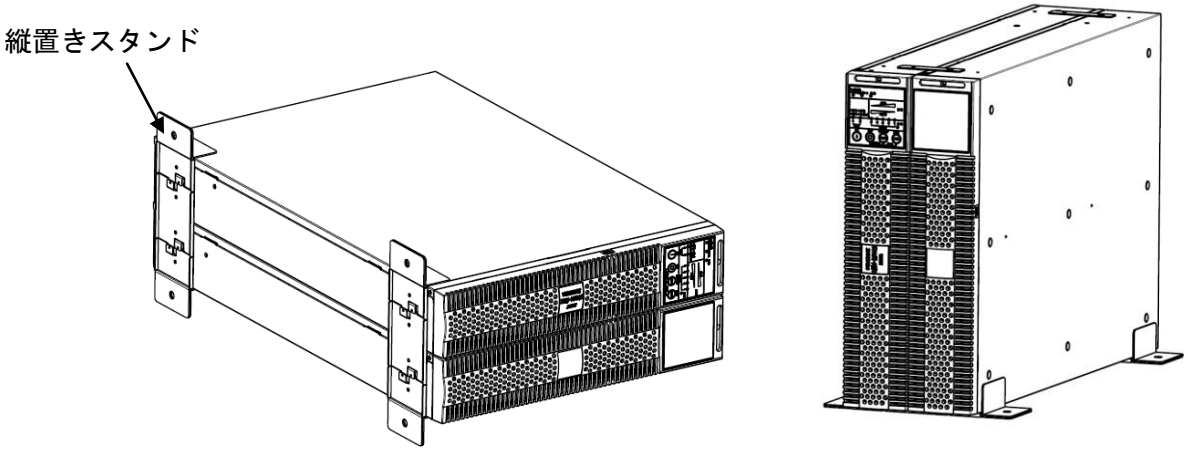
① 付属品の「連結金具Ａ」を図の位置にネジ止めする。



② 付属品の「連結金具Ｂ」を図の位置にネジ止めする。



③ 底面に「縦置きスタンド（ＵＰＳ本体付属品）」をネジ止めする。



接　続

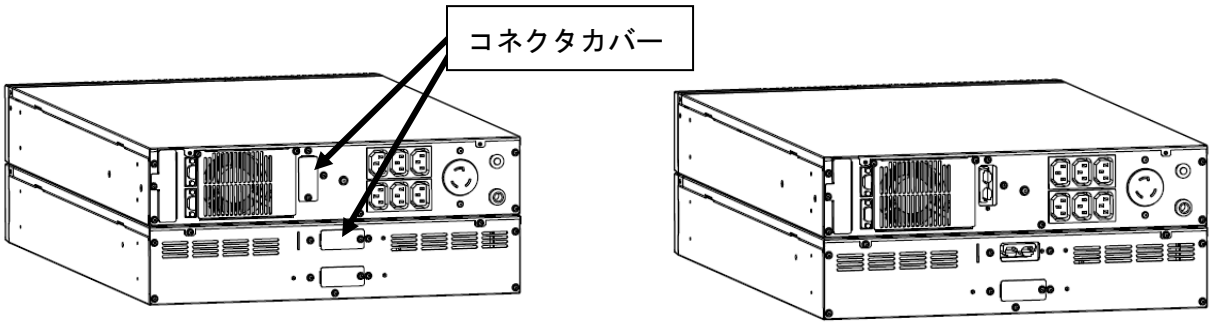
接続上の注意

⚠ 注　意	
	定格電圧以外の電圧では使用しないでください。 火災、感電等のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグに触れないでください。 感電等のおそれがあります。
	使用電線の種類、線径は容量に合わせて適正な物を使用してください。 電線径が小さい場合は発熱、発火等の原因となる場合があります。
	電源プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。 電源コードを引っ張ると電線を破損し、火災、感電等のおそれがあります。
	配線は回路電圧に応じた絶縁耐力のある物を使用してください。 絶縁耐力が不足していると、感電等のおそれがあります。
	電源プラグは必ず接地極（アース）付きコンセントに差し込んでください。 感電等のおそれがあります。
	配線は保護具をご使用の上、必ず固定してください。 けが、感電等のおそれがあります。
	接地線は容量にあわせて選定してください。（D種） 接地を接続しない場合には感電等のおそれがあります。 接地線の太さは容量に合わせて適正な物を使用してください。
	出力コンセントは、定格容量以下でご使用ください。 火災等の原因となる場合があります。
	配線については必ずＵＰＳ本体の取扱説明書の配線の項目を参照して ください。

⚠ 注　意
安全上の注意事項を確認した後、作業を行ってください。 感電、火災等のおそれがあります。

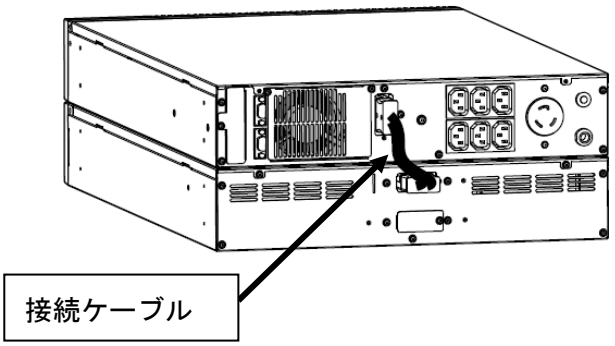
●SMU-HF152R と SMB-HF14R の場合

①ＵＰＳ本体背面の増設バッテリコネクタカバーと
　増設バッテリユニットの上側のコネクタカバーの
　ネジをはずしてカバーを外す。
（下側のコネクタは複数のバッテリユニットを接続する際に使用します。）

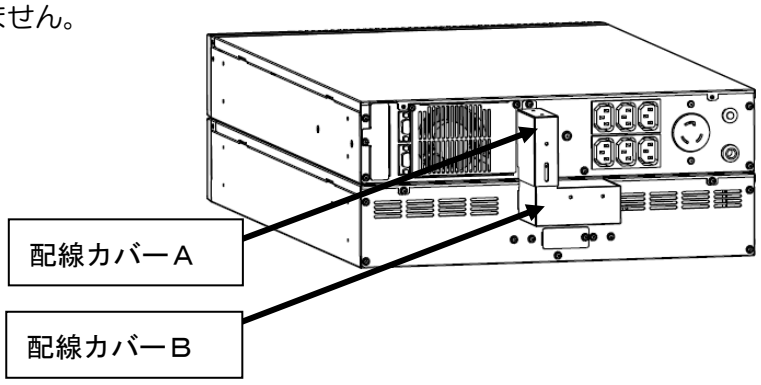


②接続ケーブルをＵＰＳ本体の増設用コネクタと
　増設バッテリユニットのコネクタに接続する。

コネクタは最後まで
確実に差し込んでください

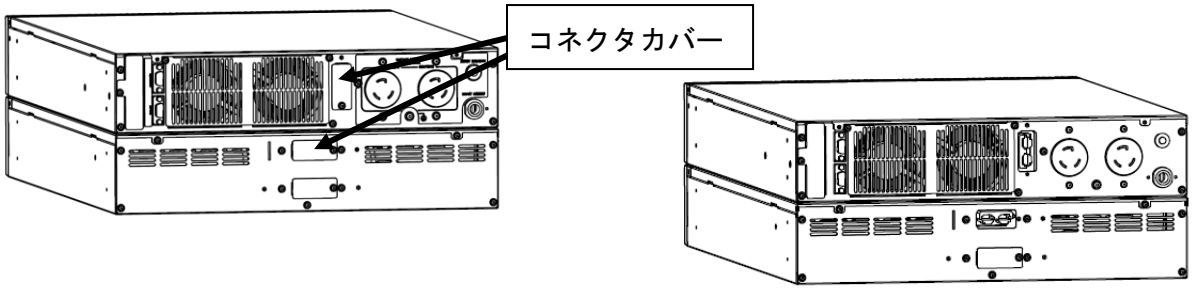


④増設バッテリユニットおよびＵＰＳ本体側の
　増設バッテリコネクタ部に配線カバーを取り付けてネジを締める。
　（外したコネクタカバーは使用しません。
　配線カバーは組み合わせにより
　余分が生じることがあります。）



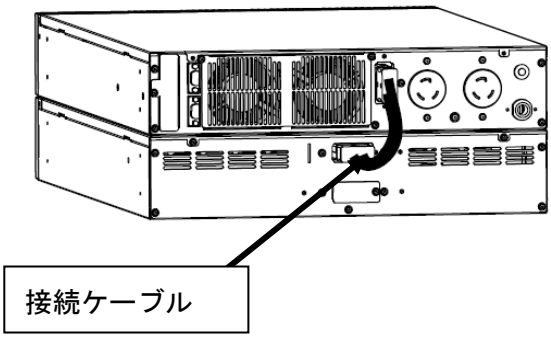
●SMU-HF302R と SMB-HF32R の場合

①ＵＰＳ本体背面の増設バッテリコネクタカバーと
　増設バッテリユニットの上側のコネクタカバーの
　ネジをはずしてカバーを外す。
（下側のコネクタは複数のバッテリユニットを接続する際に使用します。）

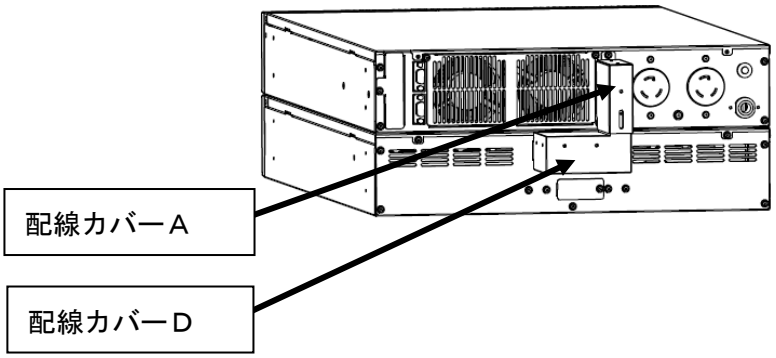


②接続ケーブルをＵＰＳ本体の増設用コネクタと
　増設バッテリユニットのコネクタに接続する。

コネクタは最後まで
確実に差し込んでください

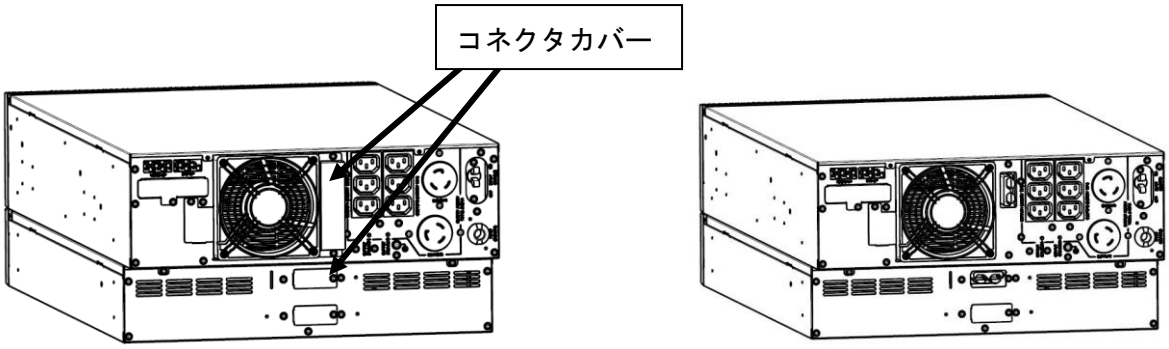


④増設バッテリユニットおよびＵＰＳ本体側の
　増設バッテリコネクタ部に配線カバーを取り付けてネジを締める。
　（外したコネクタカバーは使用しません。
　配線カバーは組み合わせにより
　余分が生じることがあります。）



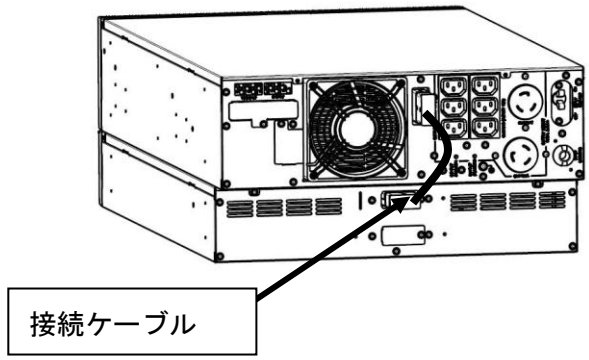
●SMU-HF502R と SMB-HF52R の場合

①ＵＰＳ本体背面の増設バッテリコネクタカバーと
　増設バッテリユニットの上側のコネクタカバーの
　ネジをはずしてカバーを外す。
（下側のコネクタは複数のバッテリユニットを接続する際に使用します。）

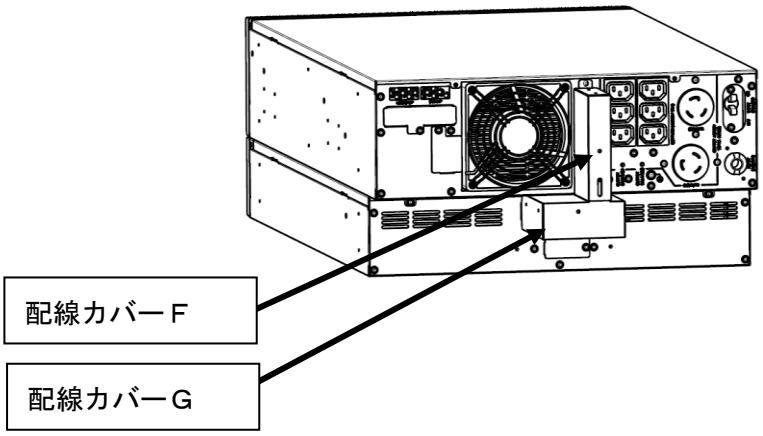


②接続ケーブルをＵＰＳ本体の増設用コネクタと
　増設バッテリユニットのコネクタに接続する。

コネクタは最後まで
確実に差し込んでください

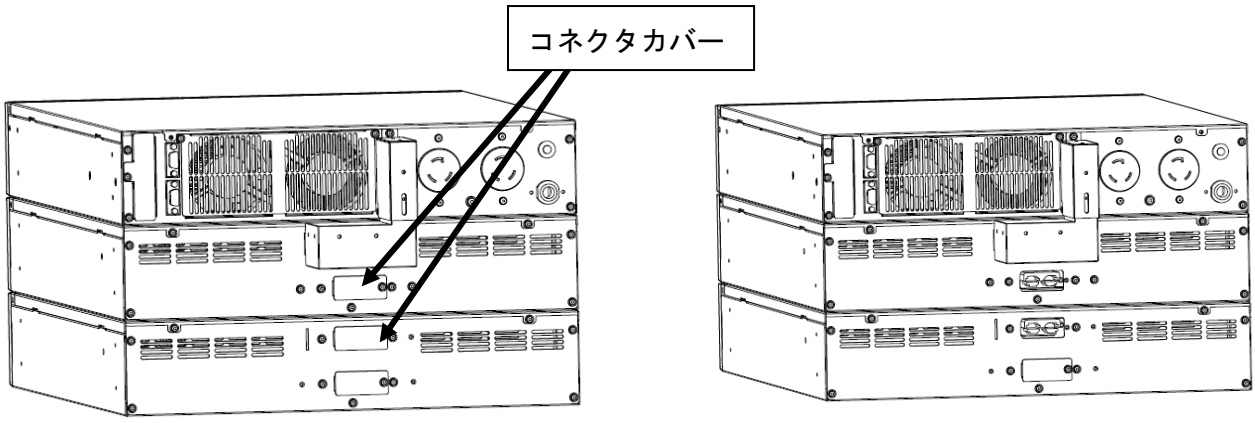


④増設バッテリユニットおよびＵＰＳ本体側の
　増設バッテリコネクタ部に配線カバーを取り付けてネジを締める。
　（外したコネクタカバーは使用しません。）



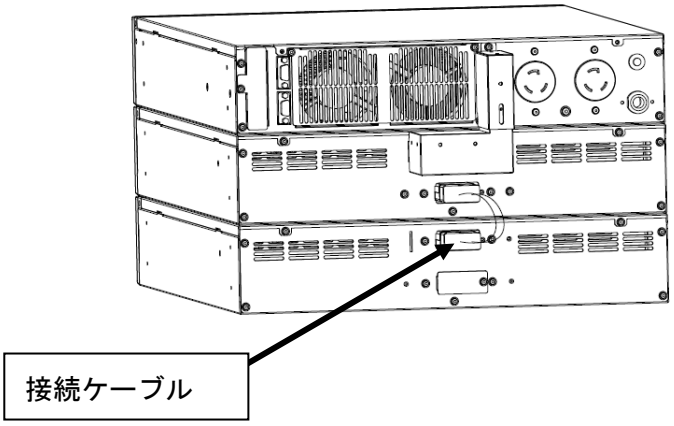
●バッテリユニットを複数接続する場合（全機種共通）

①上段の増設バッテリユニットの下側のコネクタカバーと
下段のバッテリユニットの上側のコネクタカバーを外す。

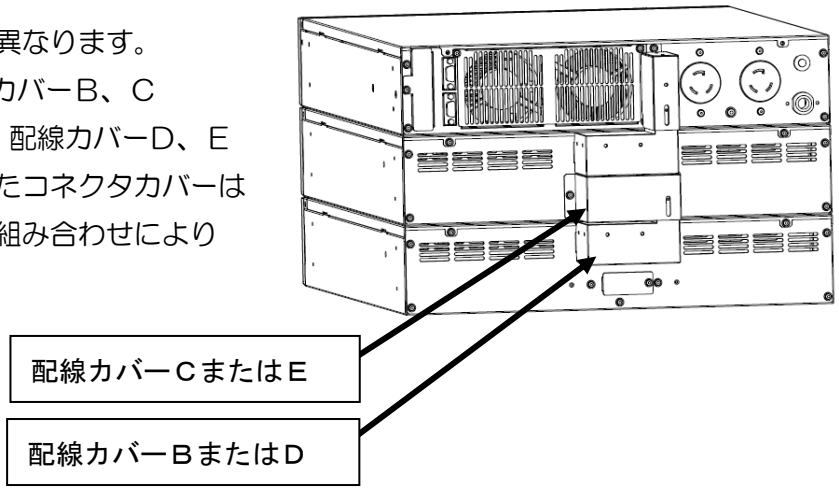


②バッテリユニット１とバッテリユニット２の
コネクタをケーブルで接続する。

コネクタは最後まで
確実に差し込んでください



③バッテリユニット２の配線カバーを閉めてネジを締める。
バッテリユニット１のコネクタ部に配線カバーを取り付けて
ネジを締める。
配線カバーは機種により形状が異なります。
SMB-HF14R のとき：配線カバーB、C
SMB-HF32R/52R のとき：配線カバーD、E
（各バッテリユニットから外したコネクタカバーは
使用しません。配線カバーは組み合わせにより
余分が生じることがあります。）



設定

増設バッテリパック数の設定

●下表を参考に UPS の増設バッテリパック数の設定を行ってください。

⚠ 注　意	
⚠	設定は UPS 本体側で行います。設定手順については必ずＵＰＳ本体の取扱説明書の機能設定の項目を参照してください。
❗	UPS本体内蔵のバッテリパック数は、本数に入れないでください。

・SMB-HF14R の場合

形式	SMB-HF14R			
適合 UPS 本体	SMU-HF152R-200		SMU-HF152R-200 -10M	
増設組電池パック数　※1	４個	８個	４個	８個
増設設定値	４	８	５　※2	９　※2

※1．SMB-HF14R は内部電池ケース１個につき２パック分の電池が入っており、これを２個搭載しているため、電池パック数は一台あたり４個分となります。

※2．SMU-HF152R-200-10M は UPS 本体側にすでにバッテリパック１個を増設した状態となっています。このため SMB-HF14R を増設する場合、増設設定値は追加したパック数と一致しませんのでご注意ください。

・SMB-HF32R の場合

形式	SMB-HF32R		
適合 UPS 本体	SMU-HF302R-200		
増設組電池パック数　※1	２個	４個	６個
増設設定値	２	４	６

・SMB-HF52R の場合

形式	SMB-HF52R				
適合 UPS 本体	SMU-HF502R-200				
増設組電池パック数	２個	４個	６個	８個	１０個
増設設定値	２	４	６	８	１０

保守・点検について

⚠ 注　意	
	教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。 装置の修理又は故障部品の交換は、お買上げ販売店、又は弊社営業所に依頼してください。 **サンケン電気機器コールセンター　電話（営業）049-266-8528** カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。 充電電圧のないことを確認する前に、コンデンサやバッテリの端子などの充電部には触らないでください。 充電電圧で感電するおそれがあります。
	保守、点検、修理時には、取扱説明書をよく読んで、御理解の上、作業を実施してください。 作業に不備があると、感電、火災のおそれがあります。 ・作業前に時計などの金属物を外してください。 金属を付けたまま作業すると、感電、やけどのおそれがあります。 ・作業は外部設置のブレーカをOFFにし、電源を切り離してから行ってください。 感電、けがのおそれがあります。 ・絶縁対策工具（スパナなど）を使用してください。 ・絶縁対策工具以外の場合は、感電のおそれがあります。 ・濡れた手で装置に触らないでください。 感電のおそれがあります。 ・質量（製品に表示してあります。）を確認して、移動、分解などをしてください。 不用意に移動、分解するとけがのおそれがあります。
	交換部品は同一定格、同一タイプとし、新旧品を混ぜて交換しないでください。 火災の原因になることがあります。
	バッテリは定期的に交換してください。 寿命の尽きたバッテリではバッテリ漏液・発煙・発火などの二次障害を起こす原因となります。
	バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。 バッテリが漏液した場合は皮膚や衣料に付着させないでください。万一付着した場合はきれいな水で洗い流してください。 特に、液が目に入った場合はすぐにきれいな水で洗った後医師の治療を受けてください。 液が目に入ると失明、皮膚に付くとやけどのおそれがあります。
	使用済みのバッテリは、そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・最寄りの営業所にご連絡ください。 バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリを分解、改造もしくは、火の中に入れないでください。傷害や火災のおそれがあります。
	使用期限の過ぎたバッテリは使用しないでください。 発煙、発火の原因になることがあります

交換用バッテリパック取扱上の注意

⚠ 注　意	
	落下などの強い衝撃を与えないでください。 落下などの強い衝撃を与えると、性能劣化の原因になる恐れがあります。
	コネクタ部に金属棒、指などを差し込まないでください。 感電・けがの恐れがあります。
	バッテリ内部には劇物の希硫酸を保持しています。 バッテリから漏液した場合は、皮膚や医療に付着させないでください。 万一付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。 特に液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗った後医師の治療を受けてください。
	使用済みのバッテリは、そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・最寄りの営業所にご連絡ください。 バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリを分解、改造もしくは、火の中に入れないでください。傷害や火災のおそれがあります。
	この製品には鉛蓄電池を使用しています。鉛蓄電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。鉛蓄電池の交換およびご使用済みの製品の廃棄に際してはリサイクルにご協力ください。

バッテリパック交換後のUPS運転に関するお願い

バッテリは、保管中も自己放電によって徐々にその容量を失っています。従って、ご使用になる前に、12時間以上の充電を行ってください。充電はUPS装置の入力プラグを電源に接続（受電）することで行えます。

バッテリ廃棄に関するお願い

バッテリは廃棄物処理法で、ユーザーの責任において、手続きを踏んで廃棄しなければなりません。
バッテリは、鉛、希硫酸及びプラスチックが主な成分です。
これらは、廃棄物の分類として使用者により異なり、事業用に使用した場合は、産業廃棄物、家庭用として使用した場合は、一般廃棄物となり、各々廃棄方法や廃棄物の分類が次のように定められています。
事業用に使用した場合は「特別管理産業廃棄物」となります。
事業者が使用した（事業のために使用したUPS）バッテリを廃棄する場合は、特別管理産業廃棄物管理責任者を設置し、資格を有する運搬業者に依頼し、資格を有する処理業者に依頼して処理すると同時に、これらが確実に実施されたことを確認するために、定められた様式（マニュフェストという）の記録をとって、保管、報告する義務があります。
ただし、このマニュフェスト発行は有料となります。
又、家庭用に使用した場合は、地方自治体により、その対応方法が分かれていますので、各々の地方自治体にご確認ください。

標準仕様

形式	SMB-HF14R				SMB-HF32R		
適合 UPS 本体	SMU-HF152R-200		SMU-HF152R-200 -10M		SMU-HF302R-200		
増設バッテリ ユニット数	1	2	1	2	1	2	3
バックアップ時間 ※1	約４０分	約８０分	約４５分	約９０分	約２０分	約４０分	約６０分
充電時間　※2	６０時間	108時間	７２時間	120時間	３６時間	６０時間	８４時間
小型制御弁式 鉛蓄電池	36V　9.0Ah　（組電池）				72V　9.0Ah　（組電池）		
増設組電池 パック数　※3	４個	８個	４個	８個	２個	４個	６個
増設設定値	**４**	**８**	**５**　※4	**９**　※4	**２**	**４**	**６**
本体色	ブラック						
合計質量	約４５kg	約９０kg	約４５kg	約９０kg	約４５kg	約９０kg	約 135kg

※1．周囲温度 25℃　初期特性　　※2．参考値を示すもので保証値ではありません。

※3．SMB-HF14R は内部電池ケース１個につき２パック分の電池が入っており、これを２個搭載しているため、電池パック数は一台あたり４個分となります。

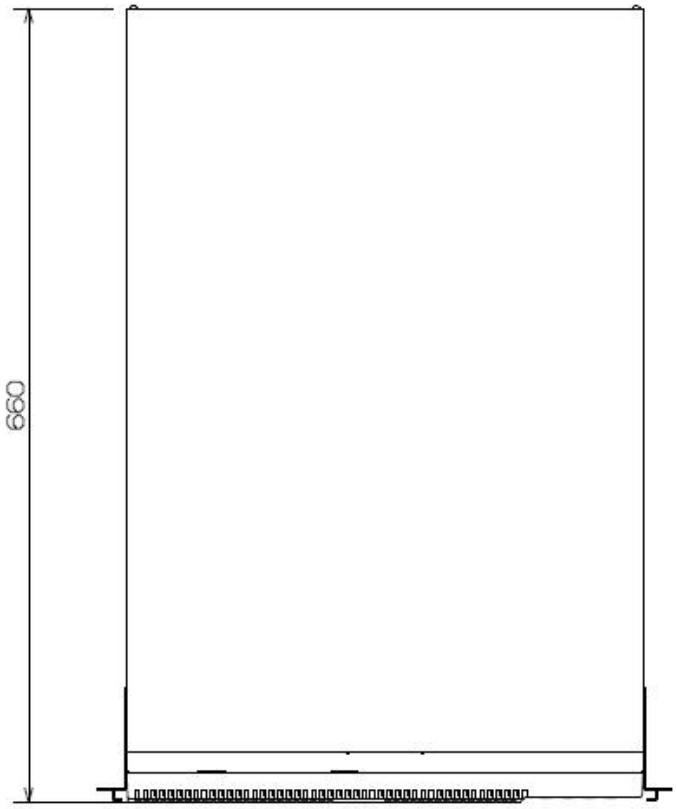
※4. SMU-HF152R-200-10M は UPS 本体側にバッテリパック１個を増設した状態であるため、SMB-HF14R を増設する場合、増設設定値は追加したパック数と一致しませんのでご注意ください。

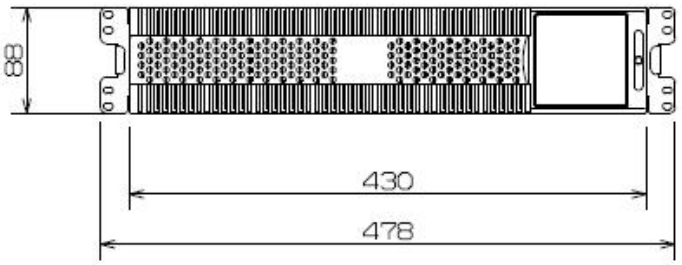
形式	SMB-HF52R				
適合 UPS 本体	SMU-HF502R-200				
増設バッテリ ユニット数	1	2	3	4	5
バックアップ時間 ※1	約１５分	約３０分	約４０分	約５０分	約６０分
充電時間※２	２４時間	３６時間	４８時間	６０時間	７２時間
小型制御弁式 鉛蓄電池	72V　9.0Ah　（組電池）				
増設組電池 パック数	２個	４個	６個	８個	１０個
増設設定値	**２**	**４**	**６**	**８**	**１０**
本体色	ブラック				
合計質量	約４５kg	約９０kg	約 135kg	約 180kg	約 225kg

※1．周囲温度 25℃　初期特性　　※2．参考値を示すもので保証値ではありません。

外形寸法

●外形寸法図（単位：mm　突起部含まず）





C版　2015.1 月

サンケン電気株式会社

http://www.sanken-ele.co.jp

東京事務所	〒171－0021 東京都豊島区西池袋１－11－１（メトロポリタンプラザビル）	TEL 03-3986-6157　FAX 03-3986-2650
大阪支店	〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田三丁目 3 番 20 号（明治安田生命大阪梅田ビル）	TEL 06-6450-4402　FAX 06-6450-4404
札幌営業所	〒060－0051 札幌市中央区南１条東３－９－２（札幌ＭＩＤビル）	TEL 011-210-0855　FAX 011-210-0877
仙台営業所	〒980－0803 仙台市青葉区国分町１－６－１８（東北王子不動産ビル）	TEL 022-263-4168　FAX 022-224-5731
名古屋営業所	〒450－0002 名古屋市中村区名駅４－４－１０（名古屋クロスコートタワー）	TEL 052-581-2767　FAX 052-562-5801
金沢営業所	〒920―0022 金沢市北安江 3-6-6（北安江メッセヤスダビル４階）	TEL 076-223-2010　FAX 076-223-8792
広島営業所	〒731-0113　広島県広島市安佐南区西原一丁目４番７号（第２宮本ビル）	TEL 082-846-0161　FAX 082-846-0169
九州営業所	〒812－0011 福岡市博多区博多駅前２－２－１（福岡センタービル）	TEL 092-411-5871　FAX 092-473-5232

TEX48203-888C